

「小さな思い」から「考える楽しさ」へ

園長 篠澤 恵理

雲一つない晴天の日、浮間公園へ親子で遠足に行きました。オリエンテーリングでは、公園の中にある豊かな自然に目を向けて、美しく咲いている花や水の中の生き物の様子をじっくりと眺める機会となりました。子どもたちが、自分の気に入った自然物や風景を写真に撮ってみると、大木の新緑に太陽の光が差し込んで輝いている場面や、小さなタンポポの花など、一人一人が何をみてどのように心を動かしていたのかということがよく分かりました。写真を撮った理由を尋ねてみると、「キラキラしていて、きれいだから。」「かわいい花だから。」など、その時の思いを振り返っていました。中には、理由を聞かれてから、一生懸命に考える子や、聞く度に選んだ理由が増えていく子もいます。子どもたちが関心を向けたことについて、保護者の方からもコメントを書いていただくと、子どもが選んだことを温かく受け止めていることが伝わってくる素敵な言葉がたくさんありました。

製作が楽しめるように改善した「アトリエ」の部屋では、毎日のように子どもたちのひらめきを感じられます。遊びの中から学んでいる姿を写真に撮り、育ちを共有するアルバム「ポートフォリオ」の取り組みも始まりました。何気ない行動であっても、よく見てみると、「こうしたい。」「やってみよう。」と真剣な表情で取り組んでいる姿が見られます。工夫して製作している場面を写真に撮って掲示すると、子どもたちは、自分のことが話題にあがることに少し照れながらも、とても嬉しそうでした。そこに写っている作品の影響を受けて「自分もやってみよう。」と取り入れる子もいます。さらにその写真を掲示すると、自分の作品を参考にしてもらえたことを誇らしげに感じている素敵な表情をしていました。子ども同士も互いの思いに目を向けやすくなり、一人の小さな考えが膨らんでいくきっかけになっていると感じています。

何気ない行動の意味を見つめていくことは、「小さな思い」が「考えたこと」として心に残ります。「小さな思い」に共感してもらおうと、子どもたちは自分のしていることを改めて「自分で考えたこと」として意識するようです。また、「いいね。」と肯定的に認めてもらうことは、次の行動への後押しになり、意欲や自己肯定感を育むことにもつながっていくと考えます。そしてこの積み重ねが、思考力の芽生えにもつながっていくことを願っています。ご家庭でも、子どもたちの小さな思いの段階から大切に共感し、「今のあなたが素敵ですよ。」と伝えていきましょう。

《今月のめあて》

5歳児 ・一緒に遊びたい友達と関わりながら、遊びを進める楽しさを味わう。
もり組 ・戸外で十分に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。

今月の歌

*今年度は、誕生会で歌う、「今月の歌」を記載します。
お子様と一緒に歌に親しんでください。

☆ 園歌 ☆

1 青い空 白い雲
緑の風が 呼んでいる
ほら みんなの
みんなの幼稚園
明るい ふくろ幼稚園

2 泥んこあそびに 鬼ごっこ
みんなの声が 踊ってる
ほら みんなの
みんなの幼稚園
楽しい ふくろ幼稚園